

改めまして皆さん、こんにちは。

県議会議員候補のやこ朋弘です。

本日は年度末の3月31日、大変忙しい中にもかかわらず、たくさんの皆さんにお集まりいただき、本当にありがとうございます。

また、昨日まで長い期間、県政報告会の開催や様々な後援会活動に参加し、多くの皆様にご支援をいただきました。

これまで順調に進めることができ、今日こうして告示の日を迎えることができました。

本当に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

#### ・選挙の構図について

さて、今回の選挙戦は、4年前と構図はほとんど同じです。

私の相手の候補者は、元々私たちの仲間でしたが、自民党に鞍替えをした元草の根代表の方です。

そして、選挙戦を見ても、相手は組織団体戦を展開していますが、私たちは市民本位の草の根選挙を今回も展開しています。

お集まりの皆様一人一人が主役の選挙です。

しかしながら、一つだけ前回と違うことがあります。

それは、前は私が挑戦者でしたが、今回は相手が挑戦者ということです。

今回は立場がそっくりそのまま入れ替わった一騎打ちの選挙戦となる模様です。

相手候補の方は組織力を活かし、市内にたくさんのポスターを張り巡らし、さまざまな激しい戦いを繰り広げてまいりました。

しかし、私たちは皆さまの励ましを頂きまして、なんとか今日まで戦い抜くことができました。

本当にありがたく思っております。

私は4年前の選挙で初当選させていただいて以来、無所属の立場を貫いて参りました。

その理由について申し上げます。

#### ・なぜ「完全無所属」か？

私は4年前の選挙で初当選させていただいて以来、無所属の立場を貫いて参りました。その理由を申し上げます。

一つ目は、私が4年前無所属の候補者として皆様に訴えかけ、当選をさせていただいたからです。無所属の私を評価して投票していただいた皆さんに対して、私がその立場を変えてしまったら裏切り行為になってしまうと考えたからです。

そしてもう一つは、市議の頃から何度も何度も申し上げておりますが、私は地方政治において政党やイデオロギーに囚われることなく、市民の皆様や県民の皆様の目線に立って、是々非々の立場で、皆様の利益を第一に判断しております。しがらみや馴れ合いとは一線を画して活動し、皆さんの利益を第一に判断していくためには、無所属の立場が一番活動しやすいと考え、その理念を追求し、県議になってからも今まで以上に活動してまいりました。

県議会では幸いにして、私と同じような考え方の無所属、完全無所属の議員が10人以上集まり、第2会派である無所属県民会議という会派を結成しております。私はこの会派に所属して、無所属の立場で皆さんの利益を第一に考え、これまで4年間活動してまいりました。そして、おかげ様でこれまで多くの成果を上げることができたと思っております。

「大きな政党に入らないと仕事ができない」「最大会派に入れないと仕事ができない、富士見市に埼玉県の予算を持ってこられない」といった考え方もあるかもしれませんが、私はそうは思いません。実際に私はこの4年間、議会でたくさんの質問の機会をいただき、また5年前の県知事選挙で私たちが応援した大野知事が県知事に就任されたことにより、富士見市で行われているたく

さんの県の事業も大きく前進することができました。決して「予算を一円も持って来られない」そんなことはありません。

この4年間に力を入れてきたいいくつかの事業について、いくつかの点についてこの場でご報告させていただきます。

#### ・4つの取り組み ①県の事業について

まず最初に、私が今申し上げたのは、富士見市でたった一人の県議会議員として、富士見市内で展開されている埼玉県の実業の推進です。現在、県はららぽーとふじみの向かい、バイパスの反対側に上南畑産業団地を建設しています。この4年間でおかげさまで、土地の買収は100パーセント完了しました。まもなく工事が始まる予定です。この産業団地が完成すると、ららぽーとと同じように雇用も生まれるでしょう。結果として多くの税収を富士見市にもたらすことになり、富士見市の発展に寄与するものと思っています。

また、その富士見川越バイパスも、現在、浦和所沢の交差点で止まっていますが、もう間もなく志木市役所の前の県道から、志木市役所から朝霞蕨線に至る県道まで、5月か6月に開通する予定です。このバイパスはいずれ高島平の方まで抜ける予定であり、そうすると私たちはもっと便利に東京まで車で行くことができるようになると思いますし、産業団地やららぽーとの価値もより高くなると思います。

さらに、水谷東地域の水害対策の水谷調節池についても、工事が着実に進展しています。このように、富士見市内で進んでいる多くの県の事業、ビッグプロジェクトが確実にこの4年間で前進していることを報告させていただきます。

#### ・4つの取り組み ②安心安全の取り組みについて

市議の頃から、私たち議員は多くの皆様から「この交差点に信号を付けてほしい」「ここに横断歩道を引いてほしい」「薄くなった横断歩道を引き直してほしい」といったご要望をいただいております。

私が県議会議員になってからは、この仕事こそが県議会の仕事だと思っています。なぜならば、富士見市は信号の要望を受けても、それは富士見市が県に要望する必要があるからです。

県議会議員は、県議会の中に警察の委員会があることから分かる通り、埼玉県警察は、埼玉県議会が見ているということです。

結果として、例えば、水谷東にある桜記念病院の前に信号が設置されましたが、その信号はさくら病院の出入り口ともしっかりと場所が重なっていました。地域の皆様からの強い要望を受けまして、数十メートルではございましたが、信号の移設を実現することができたわけでございます。また、住所は三芳町になりますが、つい先日、鶴瀬西交流センターの先にある田中成果さんのところに信号機が設置されました。それも、多くの市民の皆様から実は要望を受けていたのですが、ついに信号機が設置されたのです。

実は、信号機は埼玉県全域で年間に数機しか設置されないのです、その信号が設置されたということは大きな成果ではないかと思っております。

他にも、横断歩道を引きたい、薄くなった横断歩道を引き直したり、目の不自由な方からのご要望を受けまして、エスコートゾーンという横断歩道内にある点字ブロックのようなものを富士見市内でいくつか設置することができました。このように、皆さんの身近な安心安全の問題に取り組んできました。

#### ・4つの取り組み ③子どもたちのために

いまだに、児童虐待で亡くなるお子さんがたくさんいるという現実がありますが、私は一人でもそのようなことがないように取り組みたいと思っています。  
そこで、4年前にこの場で同じように訴えたことがあります。議会の質問の機会をとらえ、私なりに実行を訴えました。  
結果として、今度三年後には朝霞に新たに児童相談所が設置されることになりました。

不幸にも、万が一この富士見市でそのような問題に遭遇したお子さんがいた場合、朝霞児童相談所が面倒を見ることになります。また、児童養護施設にも同様の問題があります。  
老朽化している児童養護施設が多いので、草の根の市議団や県民会議の皆さんと現場を視察し、新たに施設を建設するよう訴えてきました。

児童養護施設を退所した子どもたちも大変な生活をしています。そんな子どもたちに少しでも前を向いて生活してほしいという思いから、私は児童養護施設や児童相談所を管轄する県をチェックする県議員として、取り組んできました。  
また、県立中学校の設置や主に子どもを取り巻く課題についても私なりに尽力してきました。ひとつひとつ、成果を上げることができたのではないかと考えています。

#### ・4つの取り組み ④議会改革について

最後に議会改革についてです。

県議会では私が初当選させていただいた一年間ぐらいは委員会のために女性のスタッフの方が我々議員のためにお茶出しをさせていただいておりました。しかしそんな時代錯誤なことをしてはどうか、ということで会派のみんなで訴えまして、このお茶出しということは今、廃止になりました。

またペーパーレス化ですが、パソコンを使って紙を少しでもなくしていこうそんな取り組みですとか議会での質問。一般質問をするのに一問一答制を導入する等のたくさんの議会改革を進めることができたと思っております。

議会の改革が進めば、その分県政に対するチェック機能をますます果たされていく。よって、県政を良くしていくためには議会改革を進めることが一番の取り組みではないかと私は思い活動して参りました。無所属の立場でございましたけれども、この4年間いくつもの成果を上げることができたと私は考えております。

#### ・次の4年間について

さて次の4年間です。先程申し上げました通り、いくつもの県の事業が富士見市では展開されております。さらに更に、加速させてこの事業を推進していく必要があると思っております。

また子どものための取り組みのみならず、社会的に弱い立場のために、弱い立場にある方々のために仕事をするのが私たち政治家の役目である。これは任期の一年目でしょうか。草の根の議員と、明石市に視察に行った際、あの問題発言が多くてですね。今お辞めになってしまいましたけれども、明石市長さんが自ら私たちにお話をしてくださいました。その明石市長が言っていたのが今の通り、「普通の方々には別に政治の力がなくても生活していける。やはり弱い立場の方々のために政治がどれだけ仕事をできるかが大事ではないか」と。

私は深く感銘を受けたわけですがけれども、そんな思いで子ども達やまた人生の先輩方、障がい者の方のための施策にも取り組んでいきたいと思っています。

また私の県議会4年間は新型コロナ対策に追われた4年間でしたけれども。そして今新型コロナはマスクもですね、今は外していいという話もございますし。また、5類になっているということで、段々段々元の生活に戻っていくとは思いますが、しかしまだまだ油断はできません。医療体制や療養体制をしっかりと構築していく必要があると思っておりますし、またコロナに傷んだ経済活動事業者の支援も引き続きやっていかなきゃいけないと思っております。

更には先ほど申し上げました議会改革。私はこの「費用弁償」ほんとうになんとかしたいと思っております。

私が一体県議会に行くと、今、交通費として報酬とは別で6000円の手当が出るんです。私は電車で県議会へ行きますので往復でも800円ぐらいなんです。どう考えても頂き過ぎだと。

確かに秩父から来ている議員さんもおられますから、全部廃止というのは難しかったとしても、せめて実費弁償にすべきではないかと思っております。

残念ながら県議会でははっきり言えば、反対するグループの皆さんがいるんです。私たちの声はなかなか届かないですけれども、今回の選挙で何とか一人でも二人でも仲間を増やして、そういった改革も進めていければと思っております。

いずれにいたしましても、次の4年間今申し上げましたような、さまざまな取り組みを行っていくためには、私引き続き県議会のバッジをつけさせていただけないことには、仕事をさせていただくことができません。

この4年間で多くの埼玉県の職員の皆さんとも人脈が築けました。また県政の仕組み、そういったものを私なりに理解が進んできたところです。

今ここで議席を失ってしまったら、これまでの4年間無駄になってしまうんです。逆に引き続きこの経験を元に、4年間、仕事をさせていただければ、これまで以上に皆さんに恩返しができるものと、私は確信をしております！

今日から選挙戦、9日間の選挙戦が始まりました。私はそれまでの皆さまからの熱いご支援を自分の勇気に変えて、一生懸命一人でも多くの皆さんに私の考えを分かっていたくべく活動して参る所存です。皆様の引き続きのご支援をお願いしたいところでございます。ブレない！今までも！これからも！！このキャッチフレーズの通り、9日間、ブレずに頑張ってまいりますので、皆様の熱いご支援お願い申し上げます、私からのご訴えとさせていただきます！誠にありがとうございます！よろしくお願いいたします。ありがとうございました！